



令和元年10月25日

E39

あさひかわ もんべつ

旭川・紋別自動車道

まるせつぶえんがる

丸瀬布遠軽道路

えんがる せ と せ

(遠軽瀬戸瀬 I C ~

えんがる

遠軽 I C) が

令和元年12月21日(土)15時に開通します！

～オホーツク地域の産業の発展・観光活性化・救急搬送に寄与～

○今回の開通により期待される主な効果

効果1【オホーツクから出荷される水産品の輸送効率化】

全国漁獲量の約4割を占めるオホーツク産ホタテの主要な輸送ルートとして活用されることにより、ホタテ産業の振興に貢献します。

効果2【道央圏とのアクセス向上により外国人観光の活性化】

道央圏とオホーツク圏との周遊性向上により、オホーツク圏を代表する冬期の流水観光や春期の花観光の活性化が期待されます。

効果3【高次医療施設への救急搬送の速達性・確実性の向上】

白滝・丸瀬布地区では、救急搬送の約8割が遠軽厚生病院へ搬送されており、遠軽町内への1次搬送および3次医療施設(旭川市内病院)への搬送の速達性・確実性が向上します。

※開通後の各 I C の通行方法については、別紙1をご参照ください。

※開通記念式、通り初め式につきましては、詳細が決まり次第お知らせします。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

道路計画課 課長 阿部 英樹 0152-44-6510

広報官 佐々木 徹 0152-44-6793

網走開発建設部HP <https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>

旭川・紋別自動車道

えんがるせとせ

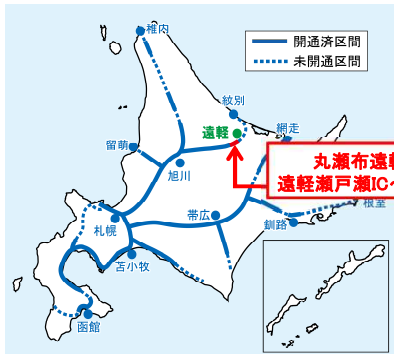
えんがる

遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC 延長6.8km

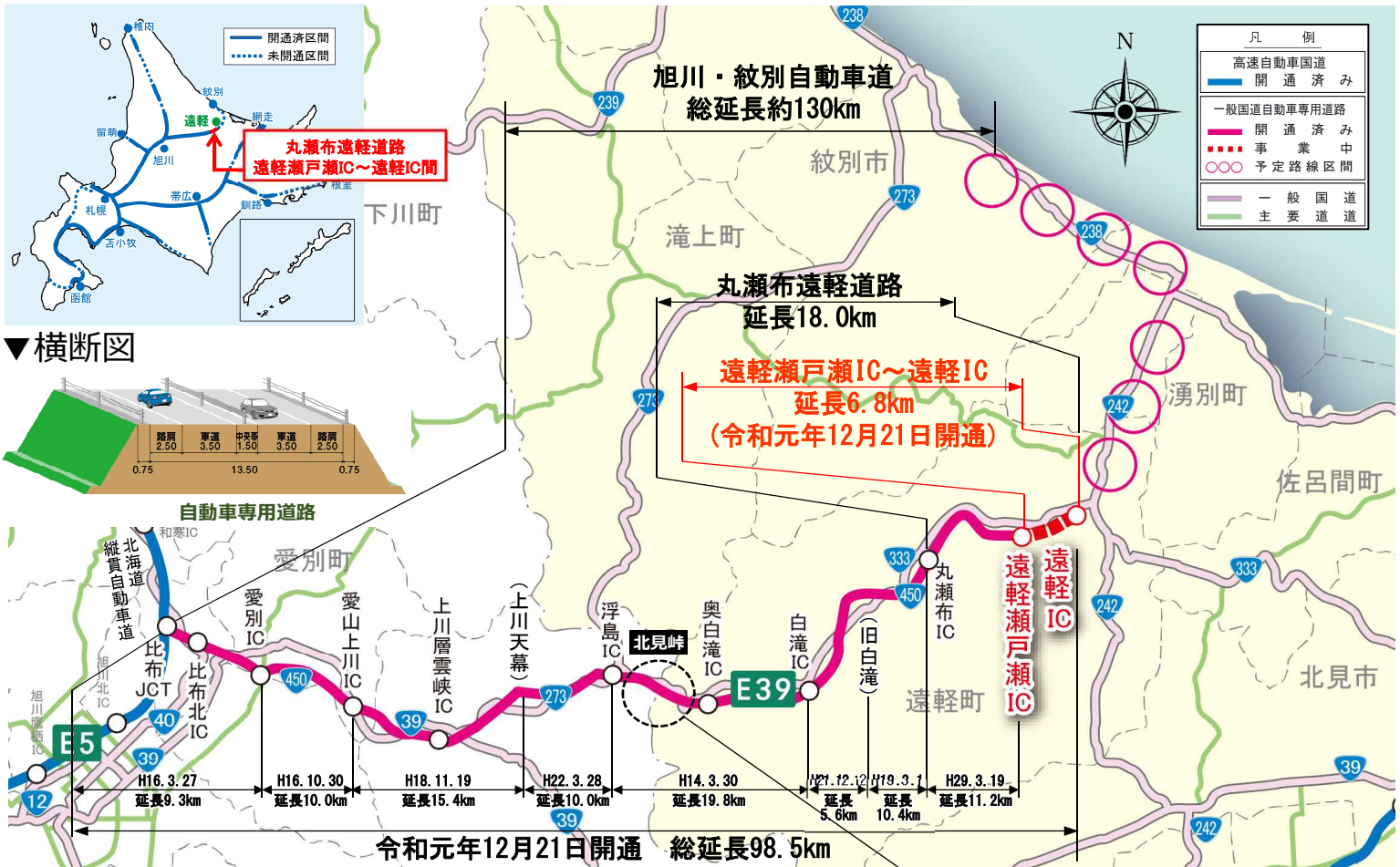
令和元年12月21日（土）開通 【通行無料】

- 旭川・紋別自動車道は、比布町を起点とし、遠軽町を経由して紋別市に至る延長約130kmの高規格幹線道路であり、北海道縦貫自動車道と一体となり、主要都市である札幌市と旭川市とオホーツク地域を結ぶ高速ネットワークを形成しています。
- 今回は、このうち、遠軽瀬戸瀬ICから遠軽ICまでの6.8kmの区間が令和元年12月21日（土）15時に開通することで、総延長約98.5kmの高速ネットワークが整備されます。

▼事業の位置



▼事業概要図



▼旭川市－紋別市間の所要時間の変化

旭川・紋別自動車道
開通前（平成12年度）

夏期	3時間34分
冬期	3時間55分

遠軽瀬戸瀬IC開通後
(現状)

夏期	2時間49分	45分短縮
冬期	3時間02分	53分短縮

遠軽IC開通後
(令和元年12月21日
開通後)

夏期	2時間47分	47分短縮
冬期	3時間00分	55分短縮

※旭川・紋別自動車道開通前は、旭川市役所～紋別市役所間の一般国道39号・273号・333号・242号におけるH27全国道路・街路交通情勢調査旅行速度により算出
 ※遠軽瀬戸瀬IC・遠軽IC開通後は、丸瀬布IC～遠軽ICは規制速度80km/hより算出
 ※既開通区間は、H27全国道路・街路交通情勢調査旅行速度により算出
 ※丸瀬布遠軽道路の冬期速度は、H26～28年度民間プローブ速度(10月、2月)から算出した冬期低減率を通常期速度に乘じ算出

▼旭川・紋別自動車道の整備による道路構造の改善



オホーツクから出荷される 水産品の輸送効率化

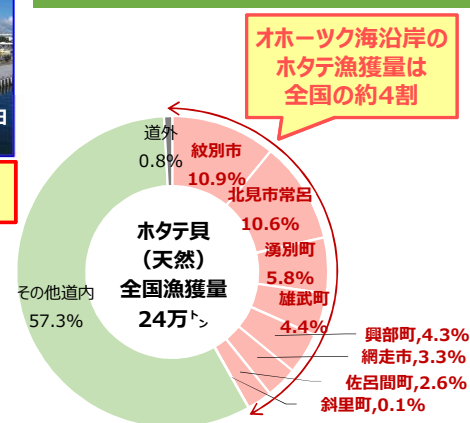
旭川・紋別自動車道 丸瀬布遠軽道路 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC 令和元年12月21日開通

- 旭川・紋別自動車道は、全国漁獲量の約4割を占めるオホーツク産ホタテの主要な輸送ルートとして活用されています。
- 旭川・紋別自動車道の延伸とともに、空港からの活ホタテ、港湾からの冷凍ホタテの中国等への輸出が増加しており、オホーツクのホタテ産業の振興に貢献しています。

オホーツク海沿岸のホタテ輸送



ホタテの漁獲量割合

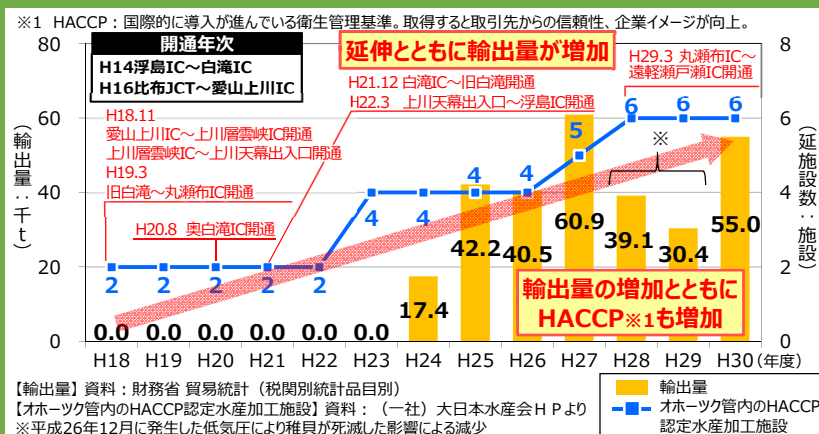


資料：農林水産省 海面漁業水産統計(平成31年1月公表)

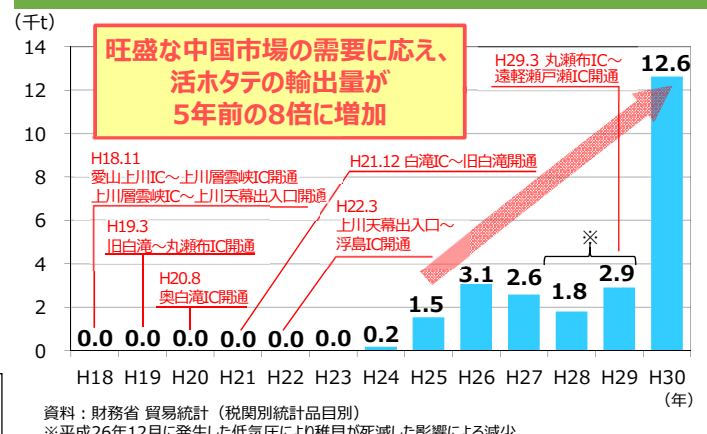
声 【活ホタテ輸出事業者】

・長時間のトラックによる輸送を行っているため、旭川・紋別自動車道を通行することで、荷崩れ、荷傷みの軽減が図られています。

北海道における冷凍ホタテ輸出量の推移



新千歳空港における活ホタテ輸出量の推移



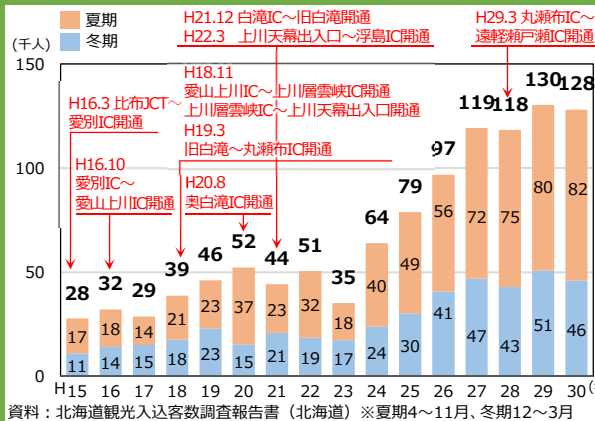
道央圏とのアクセス向上により 外国人観光の活性化



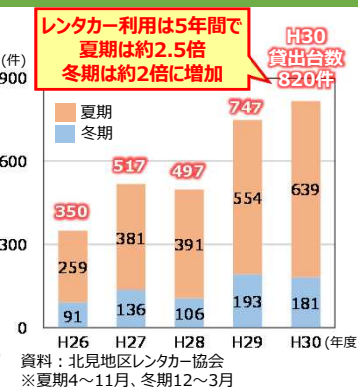
旭川・紋別自動車道 丸瀬布遠軽道路 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC 令和元年12月21日開通

- 道央圏とオホーツク圏を結ぶ広域観光の周遊性向上により、オホーツク圏のレンタカー利用が増加するとともに、外国人観光客も増加しています。
- オホーツク圏を代表する冬期の流氷観光や、外国人観光客のオフピークとなる春期の花観光が活性化されています。

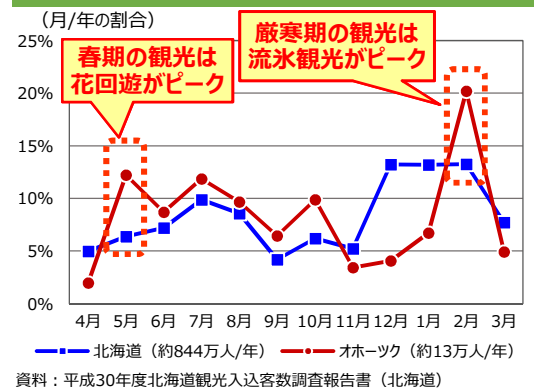
オホーツク圏の外国人宿泊客延べ数



オホーツク圏の レンタカー貸出件数の推移

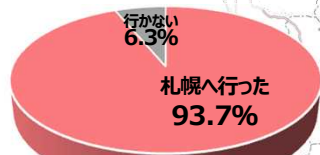


オホーツク圏と北海道の 外国人宿泊客延べ数 月別変動



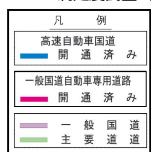
冬期の道央圏とオホーツク圏を結ぶ観光ルート

▼外国人観光客の札幌来訪状況



外国人観光客の9割以上は札幌に立ち寄り

資料：平成28年度観光客動態・満足度調査（北海道）

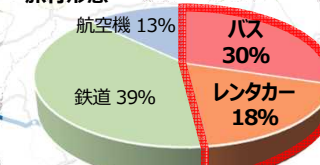


世界中の流氷が接岸する海で最も南限



資料：平成30年度北海道観光入込客数調査報告書（北海道）
※○内は、冬期（H30.12～H31.3）の外国人宿泊客延べ数

▼オホーツクにおける外国人観光客の旅行形態



資料：網走開発建設部

花観光ルート (花回遊)



声 【沿線自治体】

- ・ 旭川・紋別自動車道の延伸整備も踏まえ、冬期だけではなく通年の観光入込増加を目指しており、その中で花回遊のPRに力を入れています。
- ・ 外国人観光客向けに新しく、農林水産体験などを取り入れたモニターツアーも行っています。

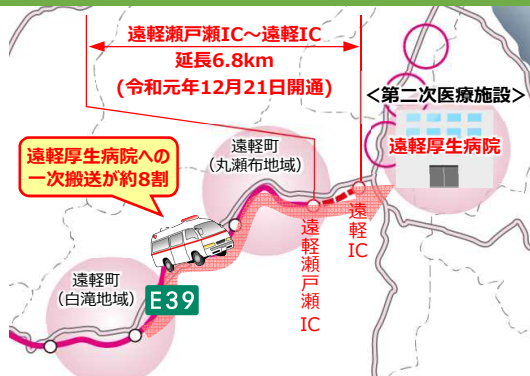
高次医療施設への救急搬送の 速達性・確実性の向上

旭川・紋別自動車道 丸瀬布遠軽道路 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC 令和元年12月21日開通

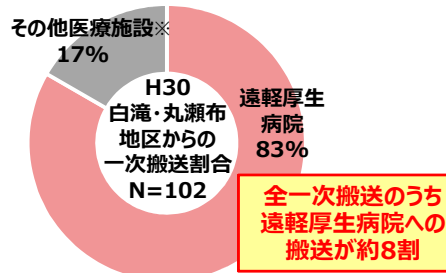
- 旭川・紋別自動車道沿線の白滝・丸瀬布地区では、救急搬送の約8割が遠軽厚生病院への搬送です。
- また、最寄りの高次医療施設が北見市にあるものの、より重篤な症状の場合は旭川市まで搬送せざるを得ず、救急搬送車両による陸上搬送を強いられるケースも多い状況です。
- 旭川・紋別自動車道の開通により、遠軽町内への1次搬送および3次医療施設（旭川市内病院）への搬送の速達性・確実性が向上します。

※ 道北ドクターヘリのカバー圏域は広域にわたるため、全ての転院搬送に対応できず、全行程または途中のICまで陸上搬送となることが常態化しています。

白滝・丸瀬布地区から遠軽町への 搬送ルート

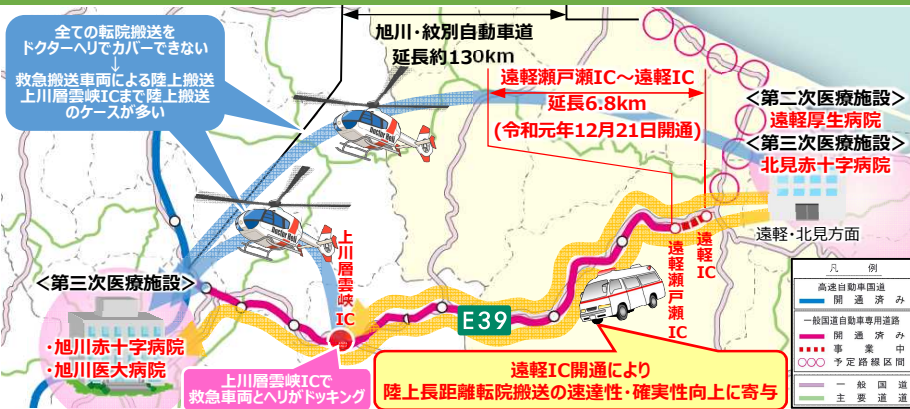


白滝・丸瀬布地区から遠軽厚生病院への 一次搬送割合

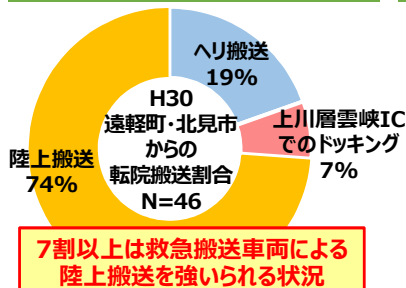


資料：網走開発建設部
※その他医療施設：白滝・丸瀬布等の医療施設

旭川・紋別自動車道沿線・先線地域から旭川市への搬送ルート

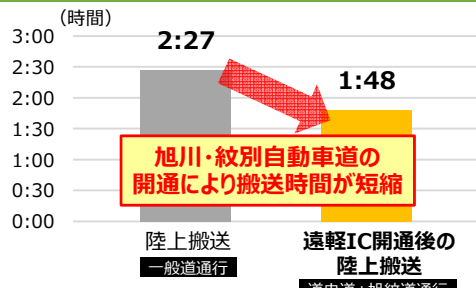


遠軽町・北見市から 旭川市への転院搬送割合



資料：網走開発建設部

遠軽厚生病院から旭川赤十字病院への 陸上搬送時間の変化



資料：網走開発建設部
※一般道通行・遠軽IC開通後はH27全国道路・街路交通情勢調査より算定

声【消防・医療関係者】

- ・ 白滝から遠軽までの一次救急搬送は、搬送時間が生存率に大きく関わるため、旭川・紋別自動車道の延伸により、迅速かつ安全な救急搬送が可能になることに期待しています。遠軽から旭川までの二次救急搬送は、特定疾患に関わる重篤な患者の搬送が多く、旭川・紋別自動車道は一般国道と比べ、急カーブや停止による揺れが少なく、患者への負担軽減に期待しています。
- ・ ドクターヘリは、天候、時間等、限られた条件での運行になることから、陸送による転院搬送が多くなっています。旭川・紋別自動車道の利用で、長距離搬送の速達性、確実性が向上することに期待しています。
- ・ 転院搬送患者の中には、死亡リスクを抱える患者もいるため、搬送先での早急な治療が必要なことから、1分1秒搬送時間が短縮されることに期待します。

インターチェンジ (IC) の通行について

別紙1

◆遠軽瀬戸瀬ICの通行について



◆遠軽 I Cの通行について

